

## 令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ にんぎょうげきだんくらるて		団体ウェブサイトURL
	有限会社 人形劇団クラルテ		
代表者職・氏名	代表取締役 八鈕 恵子		
制作団体所在地	〒	559-0015	最寄り駅(バス停) 住之江公園駅
	大阪府大阪市住之江区南加賀屋3-1-7		
電話番号	06-6685-5601		
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんくらるて		団体ウェブサイトURL
	人形劇団クラルテ		http://www.clarte-net.co.jp
代表者職・氏名	代表 鶴巻 靖子		
公演団体所在地	〒	制作団体に同じ	最寄り駅(バス停) 制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1964年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 八鈕恵子 取締役 松本則子		団体構成員 合計33名 劇団員18名 劇団員補4名 研究生1名 職員1名 嘱託9名
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担 当者を置く	本事業担当者名	松澤 美保
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	室田 美幸

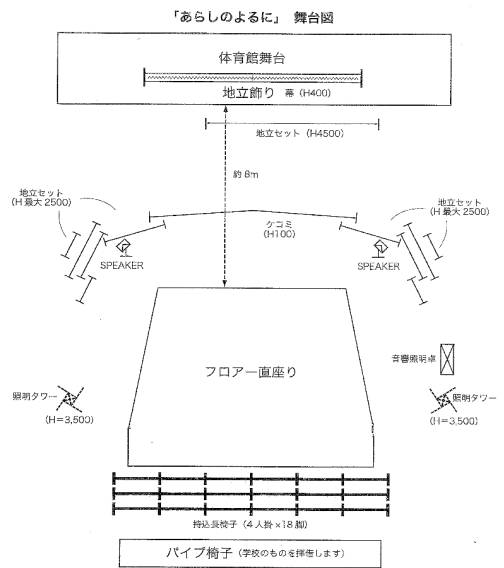
<p><b>制作団体沿革</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1948年人形劇団クラルテ創立以降、全国で人形劇の上演・普及活動を行う</li> <li>・1964年に法人格取得</li> <li>・1982年大阪市住之江区(現住所)にアトリエ竣工</li> <li>・2010年神戸事務所(兵庫県神戸市)設置</li> <li>・2016年一般社団法人人形劇団クラルテ設立</li> </ul>			
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>1956年『三匹の子豚』より小学校公演実績あり</p> <p>(直近)</p> <p>2016年度『あらしのよるに』36公演、『サーカスのライオン』16公演、他2公演</p> <p>2017年度『あらしのよるに』9公演、『いえでででんしゃ』24公演、他2公演</p> <p>2018年度『あらしのよるに』15公演、『いえでででんしゃ』12公演、中高一貫校『ハムレット』1公演、他2公演</p> <p>2019年度『あらしのよるに』19公演、『いえでででんしゃ』4公演、『トクントクンーいのちの旅ー』2公演、他1公演</p> <p>2020年度『あらしのよるに』15公演、『いえでででんしゃ』7公演、『トクントクンーいのちの旅ー』16公演</p> <p>2021年度『あらしのよるに』3公演、『トクントクンーいのちの旅ー』4公演、他2公演</p>			
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>2013年度1校</p> <p>2014年度5校(うち1校は本事業にて『あらしのよるに』山口県立山口総合支援学校)</p> <p>2015年度1校(本事業にて『あらしのよるに』宮崎県立児湯るびなす支援学校)</p> <p>2016年度1校</p> <p>2017年度3校(うち1校は本事業にて『あらしのよるに』兵庫県立赤穂特別支援学校)</p> <p>2018年度3校(うち1校は本事業にて『あらしのよるに』福岡県立太宰府特別支援学校)</p> <p>2019年度1校</p> <p>2020年度なし</p> <p>2021年度1校(本事業にて『あらしのよるに』佐賀県立中原支援学校)</p>			
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/Jt4RcRYrexQ">https://youtu.be/Jt4RcRYrexQ</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団クラルテ】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	『あらしのよりに』		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『あらしのよりに』 原作/木村裕一 講談社刊「あらしのよりに」シリーズ1～6巻より（日本図書館協定選定図書） 脚色/東口次登 演出/三木孝信 美術/西島加寿子 音楽/一瀬季生 照明/永山康英  公演時間 70 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名 原作：（株）きむらゆういち 事務所	許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済
演目概要	～本当の友だち～ 立場を越えて相手を思いやり、心を通じ合わせる事の素晴らしさを、命のドラマを通して子ども達に伝えられたらと願います。ダイナミックな人形劇でお届けいたします。 《あらすじ》 あらしの夜、暗闇の小屋の中でオオカミのガブとヤギのメイが出会い、カミナリに震えながら嵐が過ぎのを待っていた。真っ暗な中、互いを仲間だと思い込んだ二匹は、語り合い、すっかり意気投合してしまった。このまま別れることを寂しく思い、「次は明るい空の下でピクニックに行こう！」と約束をした。合言葉は「あらしのよりに」。そして二匹は相手の正体を知り、驚きながらも、「食いたい」という欲望を理性で押さえ込むガブと、無邪気なメイ。そんな二匹が無二の親友になるには時間はかからなかった。しかし、ガブは仲間のオオカミに「ヤギはえさだ。えさと友達になつたりしたら、俺たちは生きられないんだ」と言われ、メイも「生まれた時から一緒に俺たちと、この間知り合ったばかりの友達とどっちが大切なんだ」と責め立てられることに。オオカミとヤギが幸せに暮らせる新天地を目指して、二匹は歩き始めた、息もつかない吹雪の中へ……。		
演目選択理由	人形劇でしか見られない『あらしのよりに』 『あらしのよりに』は絵本の世界から飛び出し、演劇、ミュージカル、テレビ、映画などで取り上げられている。しかし、絵本の世界を立体的な空間に置き換え、フィクションとリアリズムを追求できるのは、人形劇のみである。違いを恐れ、守りの為に攻撃してしまい、自らも、周りの人達も信頼できにくい現代社会を懸命に生きる子ども達に、ぜひ、オオカミのガブとヤギのメイとの敵対関係を乗り越えた友情を感じ取って欲しい。 作品のテーマをより深め、奥の深い人形劇を感じていただく為にも、この機会に思春期の中学生へも作品を届けたい。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	舞台は体育館のフロアに組み、客席から間近なところで上演します。 子ども達にはオオカミかヤギの人形を1体ずつ作ってもらい、その人形を使って劇の冒頭部分に児童が出演する場面を作ります。ガブとメイが出会うきっかけとなる「嵐になる場面」をヤギ役とオオカミ役の2グループに分かれて実際に舞台上で演じてもらいます。ヤギ達が草原でのびのびと草を食べていると、腹ペコのオオカミ達がそれを発見し、襲いかかります。追いかけっこをしているうちに風が吹き嵐となり、雷や突風にお互い逃げ惑う。ここまでのシーンを劇団員と共に演じてもらいます。先生方にもその際、劇団員と共に風の役としてご協力いただきたいと思います。		
出演者	松原康弘、鶴巻靖子、梶川唱太、宮本敦、徳永颯希、白國亜衣、松村瑞姫、他1名(人形劇団クラルテ所属メンバーより) 計8名		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 8 名 スタッフ： 1 名 合 計： 9 名	運搬	積載量： 2 t 車 長： 6 m 台 数： 2 台※1台はワゴン

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		2.5	時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	仕込み8時～10時半 リハーサル11時～ 11時45分		13時～ 14時20分	0分	14時半～ 16時	16時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	8日	0日	0日	5日	12日		
	11月	12月	1月	計		44日	
	12日	7日					
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。							
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	20名程度		
				鑑賞人数目安	400～500名(通常時)		



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



【公演団体名 人形劇団クラルテ】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	40名程度まで
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>90分(途中で休憩時間をはさみます)</p> <p>① 人形をつくる・・・画用紙でヤギかオオカミの人形を一人一つずつ製作する。          ② 人形で表現・・・製作した人形で基本動作を表現する。歩く、走る、感情による動きの違いなど。さらに、グループごとに人形で場面や感情をイメージして表現してもらい、人形をどう遣うと、どう見えるかを知ってもらう。自分がイメージしたように表現できているか、お互いに見合う。          本番で実際に遣う人形も見ていただきながら作品説明をすることで、本番に対する期待も高めていただきます。          最後に振り返りとして、児童・生徒から質問や感想を聞いていきます。</p> <p>この他に、公演当日の本番前の時間で共演する児童・生徒とのリハーサル(45分)を行います。</p> <p>写真:子どもたちの作った人形(例)</p> 		
<p>ワークショップのねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら表現しながら相手の表現を感じ、感情や表現のやり取りをすることで表現力、コミュニケーション力を伸ばし、劇の楽しさを感じてもらう。</li> <li>・集中力、協調性を養い、全員で一つのものを作り上げる演劇の醍醐味を味わってもらう。</li> <li>・人形を遣うことで、自身の身体で行う表現よりも大胆にデフォルメされた表現がしやすくなる。そのことにより自己を解放しやすい状態となり、表現することや劇世界の楽しさをより感じるができる。</li> <li>・自分で工夫して作った人形は愛着を持ち、感情移入しやすくなり、劇体験が取組みやすくなる。</li> </ul>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>・特別支援学校でのワークショップは、事前に先生と相談し、必要な場合は学校ごとに特別メニューで対応させていただきます。また、本番前に登場する人形を間近で見て、触れてもらい、作品の世界により入り易くする、ワークショップの進行について、児童が見通しを持てるように、流れを紙に書くなどをして分かりやすく説明するといった対応などさせていただきます。</p>		